

感動新聞

平成 22 年 1 月号 発行者 細川栄一

皆様、明けましておめでとうございます！ 本年もよろしく願い申し上げます。

ビジネス経営の最前線で頑張っておられる方の役に立つ情報となればと思います。喜んで頂ければ幸いです。

ドラッカー博士の箴言 (Drucker,s Insights)

何によって憶えられたいか

13 歳の時、宗教の先生のフリーグラー牧師が、何によって憶えられたいかね、と聞いた。誰も答えられなかった。

すると、『今答えられると思って聞いたわけではない。

でも 50 になっても答えられなければ、人生を無駄にすごしたことになるよ』と言った。

ドラッカーは続けてこう言う。

「**運のよい人**は、この問いを人生の早い時期に問いかけてもらい、一生を通じて自らに問い続けていくことができる」

したがって、これを読んでおられる方々は、ドラッカーの言う**運のよい人**に相当することになる。

一年に二度、この問いを自らに問いかける。

それだけで、3 年後 5 年後には仕事が変わり、人生が変わる。

誰もが、今の自分よりも、よい自分、誇れる自分、すばらしい自分、なりうる自分を思い描く。

すると、毎日の一挙手一投足がそちらに向かう。

「今日でも私は、この問い、つまり何によって憶えられたいかを自らに問いかけている。

これは、自己革新を促す問いである。

自分自身を今日の自分とは若干違う人間として見るように仕向けてくれる問いである」

参考著書：「非営利組織の経営」ドラッカー ダイアモンド社

ちなみに、私は、今年から「理念と経営」の手帳を使うことにしました。

2010 年の 1 月の最初のテーマにこう書いています。

1 月の月間テーマ「**目的を持って仕事に取り組もう！**」

今週の質問「**あなたにとって、仕事とは何ですか？**」

目的と目標は違う。

目的とは、最終の到達点のことである。

例えば、お客様の満足や自分の成長というものが挙げられます。

そして、最終到達点である「目的」を達成するために「納期を守る」「売上を上げる」「マニュアル通りに行動する」などの「目標」が必要になるわけです。

このように「目標」とは「目的」を達成するための通過点のことをいいます。(解説読本より)

新人研修などで「目的」と「目標」はどこがどう違うのか？

というワークショップをやると、不思議と目的と目標を取り違えている！...ことが多いです。

論理構造では、

上位概念が目的 (WHY: 何故するか?)

中位概念が目標 (WHAT: 何をするか?)

そして下位概念が手段方法 (HOW: どうやってするか?)

となっております。

ところが現実の仕事に置き換えると、どうしても目先の手段方法に囚われます。

よって、本来の目的を忘れ去り、手段が目的化することになってしまいます。

一年に一度、もしくは二度くらいは、自分の人生の目的を考えてみるのが大切ですよね。

「あなたは何によって憶えられたいか？」

人生の意義、意味は？ あなたの価値は何か？

考えるきっかけになれば幸いです。そして**運のよい人**になって下さい。

今年一年もよろしく願い申し上げます。拝、細川